

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

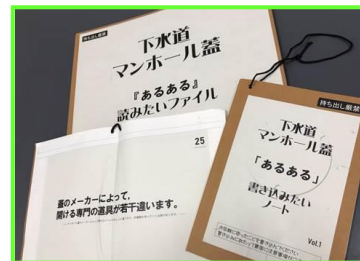
エントリーする団体名の名称 茨城県土木部都市局下水道課	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 企画グループ 針谷 直之、水野 諒 TEL:029-301-4674 F A X :029-301-4699 E-mail : gesui2@pref. ibaraki. lg. jp
代表者氏名 課長 園部 浩久	

部門名 行政部門	事例名 マンホール蓋の展示を契機とした広報活動
-------------	----------------------------

事例の概要

茨城県では、下水道の日を含む1週間を茨城県下水道促進週間として定め、県内各地で普及啓発のための関連イベントを市町村とともに実施しており、マンホール蓋展もその一環で実施している。

第6回目となる「茨城県・マンホール蓋展2019」では、県内から計52枚のデザインマンホールを集め、蓋に関する豆知識を紹介する「あるあるコーナー」や顔出しパネル、蓋にまつわるパネル展など、蓋について楽しみながら知ってもらおう企画展を行ったところ、NHKニュースや地元ラジオ、新聞にも取り上げられ、県外も含め多くの来場者があった。



【開催チラシ】

特色① 市町村担当者に協力頂き3日間かけて県庁25階まで搬入し、展望フロアでの総勢52枚の蓋の展示を実現。

特色② マニアの方など参加者とのコミュニケーションツールとして、蓋に関して自治体職員から集めた豆知識や「あるある」を読んだり、書き込んだりできるコーナーを設置。

(ex 『運転しているとなついつい跨ぎがち』, 『専用の道具がないと開けられない』, ,)

特色③ インスタなどSNSで拡散してもらう仕掛けとして、顔出しパネルを製作し、蓋の気分を味わっていただいた。



特色④ 蓋にまつわるパネル展では、蓋のデザインの良し悪しや、耐用年数、日常の点検など、蓋の魅力や重要性などを伝えた。



特色⑤ 併設する喫茶店での手作りマンホールコースターの提供や蓋の受け台・開ける道具の実物展示などを実施。

エントリー事例の特徴

- マニアの方からの期待度の高さを踏まえて、「蓋」に着目した企画としたところ、デザインマンホールの人気の高まりを背景に、SNSや報道を通じて、様々な世代層の方々にご来場いただき、PRすることができた。
- 特に、「蓋」に関して、適切な維持管理の重要性や必要性、工事の際の協力など、行政や管理者が伝えるべき情報を、パネル展や「あるある」を通じて、広報することができた。
- 蓋展示をはじめ茨城県下水道促進週間では、県内の市町村と一体となって取組んでおり、県民の下水道への理解や関心の高まりに寄与しているものと考え。 (⇒例年「下水道いろいろコンクール」への応募数も全国一)

付属資料の提出 (あり) ・ なし (どちらかに○)